

短期留学報告書

記入 | 2024年 3月
所属 & 学年 | 文学部 2年生

留学先大学 (国名)	国立台湾大学
プログラム名	国際理解科目「海外短期研修 F (アジア・オセアニア)」 NTU Spring+ Chinese & Culture Program
留学した期間	2024年3月4日(月)~3月26日(火)

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

応募の一番の目的は中国語学習です。私は応募時点で来年度秋学期からの中国語圏への交換留学への応募を検討しており、留学の語学要件のための HSK 5 級取得を目指していました。台湾は大学の授業で習う簡体字ではなく、繁体字が使われています。私は渡航前に繁体字対策を特にしませんでした。繁体字の方が日本語の感じに似ていることも多く、特に困難を感じることはありませんでした。台湾大学からいただく教科書には簡体字と繁体字の両方で表記されていたため、繁体字になじめない場合も困らないと思います。渡航前の2月末に受験した HSK 5 級がギリギリ合格となりましたが、3月末にもう一度5級を受験する予定です。3週間滞在するホテルあるいは寮は、自分で予約することになります。私は先輩からおすすめしていただいた台北国際学舎という寮に滞在しました。今年は台湾の空港到着後、自分自身で寮に移動する必要があったため、MRT (電車) やバスの使い方など事前に調べておくといいと思います。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

基本的に平日は午前が中国語授業、午後がその他アクティビティや班ごとのチューター活動になります。土日はフリーです。中国語授業は全て中国語で行われますが、事前の簡単なテストでレベル別の班 (今年は A~E) に分けられるので大丈夫です。初学者の方からペラペラの方までさまざまでした。私は C 班に所属していました。授業の難易度は易しいと感じましたが、普段できない会話やリスニングの力が伸びたと感じているので満足です。初学者の方も、最終発表ではしっかり中国語で発表をしていました。休日は友達と一緒に遠出して遊んだり、ゆったりショッピングしたりしました。平日もアクティビティが早く終わった日は大学近辺の観光地に遊びに行けます。チューター活動は、中国語のレベル班ごとに一人か二人の台湾大学の学生がチューターとしてついてくれる制度で、一緒に宿題をしたり、芝生でお菓子を食べながら話したりしました。名大からの参加者は私一人でしたが、研修の参加者はほとんど日本人なので、友達はできやすいと思います。別の大学や別の国の友達ができるのでとても楽しいです。三週間毎日毎日がとても充実していました。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

私は「台北国際学舎」という寮に滞在しました。市街地からは少し遠く、バスへの乗り換えが必要でした。三人部屋を二人で利用しました。私の場合、ルームメイトは同じ研修に参加している日本人でとても仲良くなれましたが、どんな人かは当日までわからないので運次第だと思います。3月の台北は天候の変化が激しく、ある日は雨で10℃半ばまでしか上がらない一方である日は30℃超えの夏日でした。上着は必須です。現地には洋服店も多いので、困ったら買うこともできます。台湾料理はどれもとても美味しいです。あちこちに飲食店があって、値段も安価なので食事には困らないと思います。水道水は飲めませんが、ウォーターサー

バーをよく見かけます。私は一応うがいの水もウォーターサーバーの水を利用していました。日本で現金1万ドル（約5万円分）を換金して持って行きました。日本円さえ持って行けば現地で両替できるので大丈夫です。ひたたくりやすりなどの心配は少ないと思います。唯一困ったのは、虫刺されでした。台湾には、普通の蚊の他に日本にはいない「小黑蚊」という小バエのような見た目の虫がいます。ひどく腫れるので刺されやすい人はムヒや虫除け必須です。私は、次回はアースノーマットや押すだけノーマットを持って行くつもりです。持参して良かったものは、洗濯洗剤、物干しラック、洗濯ネット、圧縮袋、日本からのお土産（お菓子）、便せん、ファイル、モバ充、パソコン、ドライヤー（ワット数が違うため海外対応のものを）です。

4. 危機管理（身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど）

長財布からポロポロの折りたたみ式財布に入れ替えました。使わないお金はスーツケースの中に入れてカギをかけて管理しました。治安は比較的良い国なので、現地の方も財布を一時置きっぱなしにすることなど余りにしていない様子でした。街中には物乞いも多いです。パンを持っていたら「お腹がすいているから、そのパンをください」と話しかけられ、渡してしまいました。脅しや暴力などの危険があるわけではありませんが、少し注意が必要かなと思います。

5. 留学を終えて感じること&短期留学を考えている学生へのメッセージ

三週間本当に楽しかったです！中国語の授業はとても面白いです。三週間の滞在期間の中で、使える単語や聞き取れるフレーズが増えることを実感できました。文化体験や解説付き（英語）の博物館見学は、台湾の文化を深く学ぶことができました。普通の旅行では得られない体験をたくさんすることができるので、非常におすすめです。

来年以降も今年と変わりなければ、名大から研修に申し込むと GPA の要件さえ満たせば、名大留学奨励制度の渡航費支援に加え J A S S O から奨学金がいただけます。他の大学からの参加者の話と比べても、名大の制度は抜群に恵まれていると感じました。忘れられない貴重な経験になるので、是非名大からも多く参加者がでたらいいなと思います。私は 2024 年秋から 1 学年間台湾への交換留学が内定しているので、もし来年この研修に参加される方がいたら是非ご連絡ください～！

6. 研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	84,750 円	ビザ不要
授業料	約 38 万円	プログラム費 2,300 USD + 申請料 200 USD
宿泊費	約 44000 円	寮 22 泊（3 人部屋を 2 人で利用）
食費	約 43000 円	カフェによく行ったので多めかもしれませんが
海外旅行保険	約 7000 円	大学紹介の保険です
現地交通費	約 13500 円	
その他（小遣い、通信費など）	約 61000 円	S I Mカードは 30 日間使い放題を空港で買いました（約 5000 円）
計	約 63 万円	奨学金あり

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどを記入してください。写真添付も歓迎します。

↓↓↓



牛肉麵、魯肉飯、小籠包、胡椒餅、珍珠奶茶、かき氷、蛋餅……全部おいしいです。



腰の曲がったポストです。ここで家族にあてた手紙を出しました。一週間ほどで届きます。近くにとっても有名なパイナップルケーキ店もあります。



毎日乗ったバスです。台北住民になった気分になれます。



阿妹茶楼という九分の有名なお茶屋さんです。私は二回も行きました。お茶おいしいです。少し並びますが、夕焼け時きれいでした。



台北は夜も明るいです。



北投温泉です。寮やホテルは基本シャワーだけなので疲れたら北投に行くことをお勧めします。「瀧乃湯」は150元(約750円) 足湯なら40分100元(約500円) お菓子とお茶付きです。博物館は当時の浴場がそのまま博物館になっていてとても面白いです。